

猫5匹とご夫婦がのびのびと暮らす自然素材の家

間取りの工夫がひかる家「小田原市T邸」
 敷地面積242・94㎡（73・50坪） 延床面積99・15㎡（29・99坪）



■賃貸アパートを持っていたら少しはいいましたが、賃貸をやめ、その敷地にご自宅を建てるご相談をいただきました。今までの家で世話をしていた猫ちゃんが5匹（現在十歳4匹、5歳1匹）いるので、新しい家では、その猫ちゃんたちのための工夫も必要でした。

■賃貸アパートを持っていたら少しはいいましたが、賃貸をやめ、その敷地にご自宅を建てるご相談をいただきました。今までの家で世話をしていた猫ちゃんが5匹（現在十歳4匹、5歳1匹）いるので、新しい家では、その猫ちゃんたちのための工夫も必要でした。

●Tさん奥様
 最初の冬、今までの寒さを想像して石油ストーブを使うかもしれないと用意していましたが、エアコン1台の暖房で済みました。床暖房を入れてもらっていて、寒い日に3〜4回使いましたが、とても心地よかったです。サンルームとLDKの間の扉は、よほど寒いとき以外は開けたままにしています。夏の暑さもエアコン1台で十分に快適に過ごせました。キッチンから玄関へ収納を兼ねた通路がありますが、自然の風がとても気持ちよく抜けていきます。たくさん

の家具を持っていたので、それらを持ってきてもうまく収まるよう収納を設計してもらいましたが、1年経ってみると、家具を少し処分して、その分収納スペースを広げていくかなど、今は考えています。

■設計担当・堺原からのコメント

外装は防火やメンテナンスの性能重視で選びました、風の通る雨戸は風通しを、軒のある屋根形状は四季の日照を考慮しました。又サッシや断熱については、2025年に義務化される省エネ基準に沿った仕様になっております、耐震については等級3を確保しました。

調湿機能の大切さから、真壁という伝統表現の、柱、梁を表しとしています。床、天井には国産の無垢桧や杉張り、壁は漆喰塗り等の自然素材で、大工や職人により丁寧に仕上げました。



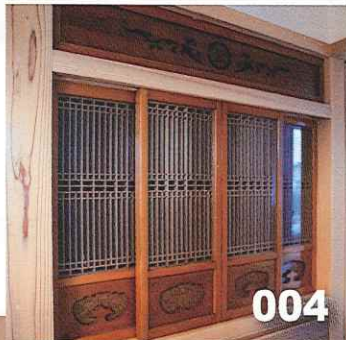
北側から玄関に入ると、さらに猫ちゃんたちの脱走を防ぐためのガラス扉があります。この玄関土間が猫ちゃんたちの食事と休息の場所になっています。



猫ちゃんスペースからLDKに。キッチンの天井は、不燃の漆喰。リビングダイニングの天井は国産杉材。床はヒノキ。



壁のキャットウォークを楽しんでいるのは、T邸の猫ちゃんたちの中で一番、人なつこいボリちゃん（オス・十歳）。



持たせられた猫ちゃんたちも、きちんと納まる場所を確保。



車いすになってもトイレの使用が不便にならないよう、洗面室と一体の広々としたスペースを確保。

しっぽ家族も快適な空間





★ コンクリートの雨漏りを止め、打ちっぱなし本来の質感を取り戻した外壁補修&塗装工事

■ 大磯町T邸は1983年築のRC打ち出し&タイル仕上げのデザイン性の高い住宅です。これまで当社で、内装、設備、外壁塗装、雨漏り補修などを施工させていただきましたが、雨漏りについては、新たな発生箇所が見つかるなど、きちんと止まらない状態が続きました。前回ご利用いただいた外壁塗装から十年。この度、雨漏りを徹底的に解決するための調査をご提案させていただきました。

1. 雨漏りの現状と塗膜はがし調査

状況を調べてみると、前回塗装の塗膜の内側に雨水がたまり、塗膜が破れてきていました。雨漏りは室内階段の漆喰仕上げの踊り場にも発生していました。塗膜をはがしてみると、コンクリートの亀裂が様々な箇所で見つかりました。



●コンクリート塗装の塗膜剥がれ ●室内階段踊り場の雨漏り ●陸屋根側面のコンクリートの亀裂 ●地面近くのコンクリートの亀裂

2. コンクリート亀裂の補修と下塗り

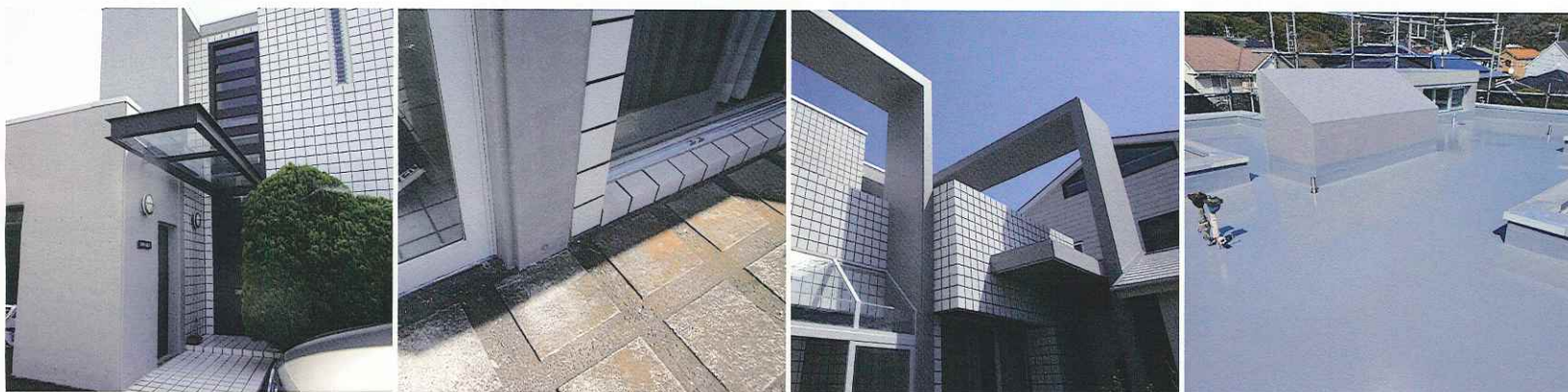
コンクリートのすべての亀裂を徹底的に見つけ出し補修しました。そして、下塗りを行いました。



● 駐車場出入口の亀裂補修 ● 亀裂補修後の下塗り ● 地面近くのコンクリートの亀裂補修 ● 亀裂補修後の下塗り

3. コンクリートの質感を取り戻す仕上げ塗り

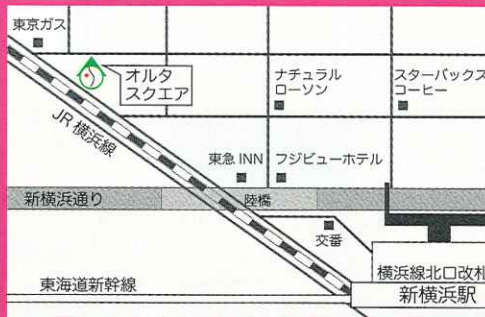
下塗りを終えた後、コンクリート打ちっぱなしの質感を取り戻す仕上げ塗りを行いました。屋上は防水層に下塗りのうえ、トップコート塗装をしました。



● 駐車場出入口周辺のコンクリート塗装の仕上がりの様子 ● 地面近くのコンクリート塗装の仕上がりの様子 ● すべてのコンクリート壁面を補修塗装しました。 ● 陸屋根防水のトップコートもきれいに仕上がりました。

もともとコンクリート打ちっぱなしの質感が好きでこの家を建てられたご主人に、亀裂の補修と仕上げ塗装を喜んでいただくことができました。また、組合員のTさんから、丁寧な塗装作業を評価していただきました。

オルタスクエアの標準メニュー



JR 横浜線の線路沿いです

生活クラブの家づくり
オルタスクエア

<http://www.a-sq.co.jp/>

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F
電話: 045(476)1105 (日曜・祭日休)
FAX: 045(476)1106
mail: info@a-sq.co.jp
(ご相談はメールでも受付けています!)

私たちオルタスクエア株式会社は 1998 年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

屋根診断
税込み9,900円

「屋根に穴が開いてますよ。無料で直してあげます」という悪質業者の訪問に注意!
オルタスクエアの有料屋根診断は、専門家が屋根を点検し写真と報告書をお出しします。対策が必要なお見直しもご提案します。



床下診断
税込み8,800円

床下の状態が気になったお家のために、専門家が床下にもぐって調査結果を写真とともに報告するメニュー。ご利用は1回のみです。万が一シロアリがいた場合は、人にもペットにも無害なシロアリ駆除工事(「月桃」使用)のお見積もりをお出しします。



＊「居場所」開設のためのキッチンリフォーム

(愛川町一邸)

■ 愛川町中津にあるI邸は、Iさんのご祖父母が住んでいた築六十年ほどの平屋。引き継いで住んでいたIさんが、その住まいのスペースを利用して地域の居場所にしたと思い立ち、改修について、さがみ生活クラブ「居場所をテーマとしたアンシエーション支援基金」を通じて、当社にご相談がありました。

訪ねてみると、玄関は広く、畳と障子が味わい深い民家の雰囲気でした。ご相談の結果、最優先のキッチンに絞ってリフォームをさせていただくことになりました。

● キッチンの交換

古く、高さも低いキッチンを新しいシステムキッチンに

● 窓の交換

木枠の窓で隙間風が入ってきているのを、新しいサッシに交換

● 床の貼り換え

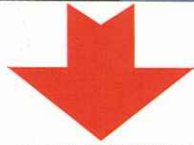
すでに床がペコペコし始めている古いカーペット張りの床をはがし、断熱材を入れた上で、無垢のナラ材(オーク)の床に

■ 今回のリフォームでは、新しいシステムキッチンの両脇に無駄な隙間ができないようにパネルを立て、また天井部分も同材パネルで仕上げ、そこにダウンライトを設置したことで、灯が美しく映える、スッキリしたキッチンになりました。

完成した新しい空間では、Iさんが選んだキッチンの面材と、無垢のナラ床材がとてもあっています。キッチンの両脇と天井、窓上に回したパネルもとてもさわやかで、ダウンライトも素敵です(電気工事は、Iさんの旦那さんが担当)。



Before



リフォームに合わせて家具を配置替えしたことで、玄関スペース・畳スペース・キッチンの3つの空間が回廊式につながりました。居場所に来た参加者やスタッフの方たちにとって、キッチンがとても身近になったと思います。



After



＊壁紙の上から本物の珪藻土を塗ったリフォーム

(川崎市宮前区N邸)

■ 宮前区のNさんは、当社の「秋の住まい展」(2022年十一月)にご来場いただいた時に、既存の壁紙を剥がさなくても適切な下地処理をすれば、その上から珪藻土を塗ることが可能との情報を得て、当社に珪藻土塗りのご相談をいただきました。2階の二つの洋室とトイレが対象です。

当社がご提案する珪藻土は、北海道稚内とれるメソポア珪藻土(細孔の直径が2〜50ナノメートル)を主成分とする「MPパウダー」で、このサイズの細孔が調湿機能に適しています。ほかの成分は、白土(白い粘土質)、植物性繊維(ひび割れ防止)、でんぷん糊(施工性向上と固化補助)で、合成樹脂は含みません。

■ お見積りのやり取りの結果、2つの洋室はMPパウダーM(珪藻土含有量50%・1㎡あたり約90gの水分を調湿)、トイレはMPパウダーH(珪藻土含有量80%・1㎡あたり約155gの水分を調湿)を使用することになりました。また、あわせてトイレ便器交換とエアコン交換なども依頼をいただきました。

北側の洋室工事に際しては、これまでの蛍光灯を、Nさんがご自身で選ばれたLEDブラケット2台に交換することとなり、珪藻土を塗る前に配線準備を行いました。

珪藻土の質感がとてもいい雰囲気に仕上がりました。Nさんご夫妻からは、珪藻土塗りの工事が、とても丁寧だったと、お褒めの言葉をいただきました。



Before

便器や洗面台を養生しながら珪藻土塗り。水分を含んでいるので珪藻土が濃く見えます。



Before

工事前の北側洋室の蛍光灯



After

ロフト付きの高い斜め天井も含め、全体を珪藻土で仕上げました。Nさんが選ばれたLEDブラケットの電球色が、珪藻土の自然の壁にとってもなじんでいます。



■建て替えを当社にご相談いただき、2022年7月に完成お引き渡しとなったS邸。外皮熱還流率が「ZEH基準」の0.60W/㎡・Kを上回る0.49W/㎡・Kの省エネ住宅です。夏・冬の様子がどうだったのか、お話を聞きに伺いました。



●Sさん奥様のお話

これまで住んでいた家は四寸柱で躯体はしっかりしたものだと思っておりましたが、建築後に地下車庫を作った影響か、壁に亀裂が入るなど若干気になるところがありました。また、2階に広いベランダがあつて重宝したのですが断熱が悪かったのか、真下のリビングの天井に熱気が溜まり、これは少々困りごとでした。

それ以外にも、経年により補修の必要箇所があちらこちらにあつて、家の建て替えを検討しました。耐震性や断熱性を解決し、また、家全体を冷暖房の効く建物にしたいと考えていました。設計担当の山岸さんと何度も打ち合わせを重ね、好みの和風テイストで木が主役になる家を設計していただきました。

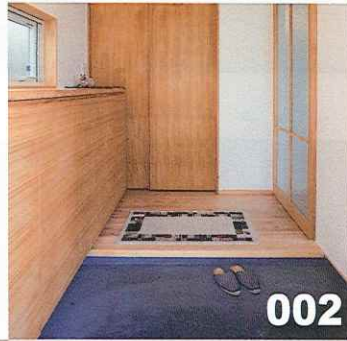
1階床のエアコンは暖房用です。床下に暖気を入れて通風口から温風が吹き上がります。昨冬、初めての冬を経験しました。18℃の設定でも家全体の温度は20℃〜22℃くらいになりました。そのほんわかとした温かさは、快適でした。夏は2階のエアコンで、すのこ廊下を通して冷気がリビングに下りてきて、全体を涼しくしてくれます。家全体の温度を下げるため、冷房が苦手な私でも気になります。

冷気・暖気を循環させるために吹き抜けが必要でしたが、そこが悩みどころでした。2階の部屋も確保しながら循環もできる。すのこ廊下のアイデアは大成功でした。本当に良い家を作ってもらったと思っています。

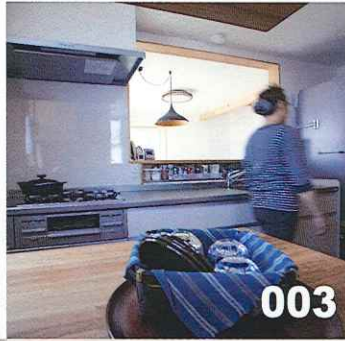
設計で実現した快適な暮らし



建物の外観や構えと融合した美しいお庭



墨モルタル仕上げの玄関土間。LDKへの大きな引き戸は採光できるようにになっています。



キッチンスペースは回廊式に洗面スペースとつながって収納力もたっぷり。使い勝手の良い木製作業台もあります。



2階の西側にある本棚&収納スペースと簀子(すのこ)廊下。ここにある1台のエアコンが夏の冷房用です(暑がりな旦那さんのお部屋にも1台エアコンが入っています)。



見晴らしの良い、東南の角に奥様のお部屋。障子が美しい和風のお部屋に木製家具がなじんでいます。

